

障害のための公共

～誰もが暮らしやすい社会とは？～



きっかけ

2月3日に北筑高校で行われた、私達北筑生の先輩である**PLS（原発性側索硬化症）**の障害を持った落水洋介さんの講演会を聞き、『**障がい**』について興味を持った。

そこで、SDGsではどのような目標を掲げているのだろうと思い、今回SDGsの目標11の『**障がい**』に着眼点を置き、調べることにした。

目標11.7 （持続可能な開発のための2030アジェンダ和文仮訳（外務省HP掲載）から一部抜粋）

2030年までに、女性、子ども、高齢者及び**障害者**を含め、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスを提供する。



障がいとは...?

障害者・障害とは、身体障害、知的障害又は精神障害があるため、継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける者をいう。（障害者基本法 第二条）

- ▶ **身体障がい**...先天的、後天的な理由で身体機能の一部に障がいを生じている状態。
- ▶ ex...視覚・聴覚・平衡機能障がいなど



障がい

- ▶ **精神障がい**...様々な原因により意識、知能、記憶、感情、思考、行動などの精神機能に障がいを生じ、行動に影響を与える。
- ▶ ex...うつ病、統合失調症、薬物依存症など

- ▶ **知的障がい**...記憶、知覚、判断などの知的機能の発達に遅れがみられ、社会生活などへの適応が貧しい状態。18歳までに生じるもの。



落水洋介さんにインタビューしてみました!!

▶ 北筑高校で不便だと感じたことは？

➡ **スロープ**が完全に整備されていないこと。

～北筑高校のバリアフリー～

- ・昇降口前に2カ所のスロープ
- ・二階校舎から体育館へのスロープ
- ・車椅子用のトイレ



しかし!!
これらがどこにあるの
か分からない...

つまり!!!

生徒や先生などの学校関係者にしか分からない!!!



そこで!!! 誰にでも位置が分かるように**ポスター**を作成してみた!

来客者の目にとまりやすい体育館、職員室、売店、昇降口付近に

ポスターを設置しました!



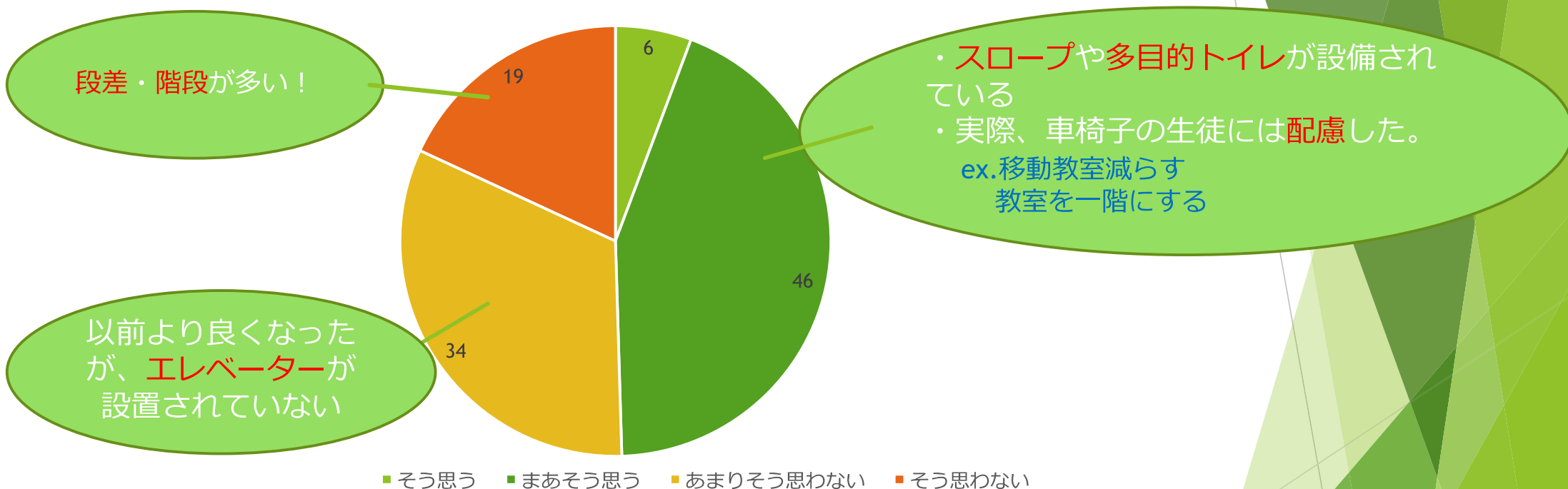
北筑高校 多目的トイレ

各階、昇降口側にあります!



Q.北筑高校のバリアフリーは整っていると思う？

北筑高校の先生・3年生の生徒、計102名にアンケートを取りました！



アンケート調査を行っていく上で、多くの先生方は『整っていない』と感じており、3年生は『まあ整っている』と感じているという傾向がみられた。

学校のバリアフリーの設備はまだまだ改善する必要があるが、周りの配慮・協力によって、不足している部分を補っていることが分かった。

では、身の回りの設備は・・・？

▶ 公共の場

点字ブロック

- ・駅「危険ですので黄色い線の内側までお下がりください」
視覚障害者は危険な位置？ 危険の基準をそれにしているの？

社会

内側に下がる→点字ブロックがあく→視覚障害者が通りやすくなり転落を防げる
『**視覚障害者が安全に通るために道を開けてください**』という意味

現実

しかし！！・・・駅のホームでの視覚障害者の**転落事故**が後を絶たない
→**集中の妨げ・場所の勘違いがある・案内が少ない**

約35%が経験
約50%が落ちそうになった

※

Q 公共の場で危険だと感じる所はどこですか？

落水さん：公共交通機関全般。段差や歩道のちょっとした傾き、踏切、歩きスマホなど

実は、施設があっても**私たち自身の周りへの配慮・案内が不十分**
→**安心して利用するための妨げが多い**



此処だけで言えたこと・・・？ **NO!**

私たちにできることは・・・？

「声かけサポート運動」・・・困っている方や助けが必要な方に「声かけ」をすることで
安心・安全・快適に暮らし過ごせる地域社会の実現を目的

①見守る

危険はない？
困ってない？



②声かけ

お手伝いできること
はありますかなど



相手の意
思を尊重

③支える

安心のある生活
へサポート



しかし この運動の認知度・現実には・・・

声掛けサポート運動の認知度

この運動の認知

度
■ 知らない
■ 知っている

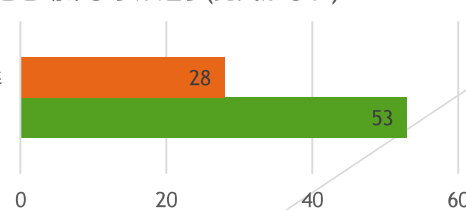


身体障がい者などを見つけたとき助けようか迷う(勇気がない)

障がい者を見つけたときに助けようか迷

う

■ 迷わない ■ 迷う



注意
・無理やりはダメ
・迷いや困難なく歩いているときは声はかけない

認知度は低く、声をかけようか迷う人が多い

視覚障害者の体験をしてみた!!

階段20段をいろんな条件で上ってみた!

Q. 次の3つの条件で一番時間がかかるのはどれ?

1. 目隠しなしで普通に上る
2. 目隠しをして、手すり有りで上る
3. 目隠しをして、手すりなしで上る

2倍以上の時間がかかってしまう!!

A. 3

① 12秒 ② 25秒 ③ 29秒



◎ 私たちが体験を通して感じたこと。

- 平衡感覚がなくなる
- 歩きやすい靴が重要
- 手すりの有無



手すりの安心感!!

誰かの声かけがあれば...

北筑高校の上靴は歩きにくい...



着地点

▶ 公共制度が整っていない場では、いろいろな人を**配慮した仕組み**を作ること

▶ 誰にとっても安全で快適に過ごせる町へ！

▶ 公共施設の設置と場所と分かりやすい案内の設置

配慮しなければならぬ部分が見えてくるかも...!?

障がい者の立場を体験したり学んだりして知ろうとする姿勢。

- ・ 歩きスマホ
- ・ 点字ブロック上の障害物
- ・ 手すり側を歩かない

手助けが必要がないと言われても声を掛けることが大切！

目の前で困っている人を見かけたら、助けようとする心

それを行動に移す勇気！